



議会だより

編集 議会だより編集委員会

第3回朝霞市議会定例会 令和2年度(2020年度)朝霞市一般会計歳入歳出決算認定 についてなど16議案を審議

令和3年第3回朝霞市議会定例会は、9月7日(火)から10月5日(火)まで29日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長から16議案が提出され、慎重に審議した結果、16件の議案を可決・認定しました。

また、議員提出議案が1件提出され、可決しました。議案の件名と要旨は、次のとおりです。

なお、議案等審議結果は市ホームページに掲載しています。

議案審議

議案第43号 令和2年度(2020年度)朝霞市一般会計歳入歳出決算認定について

【説明】

歳入62億4075万8340円、歳出62億2672万590円、この決算を正當なものとして認定するものです。
歳入の主なもの、市税、

地方消費税交付金、国庫支出金、県支出金、市債などです。

歳出の主なもの、会議録調製等委託料、防災行政無線デジタル化整備工事、住民情報システム借上料、介護給付・訓練等給付費負担金、児童手当、各種個別予防接種委託料、市民農園管理委託料、中小・小規模企業者支援金、道路舗装工事、朝霞地区一部事務組合負担金、学校の給食材料費、第八小学校母校給食施設等整備工事、総合体育館施設改修工事などです。

【質疑】

公共交通政策の推進状況

黒川滋議員 2020年度は、新型コロナウイルスによって、バスやタクシーなどの交通手段の利用が低迷したり、バス路線の廃止・減便の難題に対策に取り組みました。また、地域公共交通計画の初年度として、民間交通事業者と総合的な公共交通の充実に取り組

んだ年でした。わくわく号と開発案件以外は民営事業者任せだった市の交通政策が、初めて公共のものとして、包括的に捉えて動き出した一年でしたが、その取り組みの内容と、課題をお伺いします。

都市建設部長 今年2月に将来にわたって公共交通を維持し、活性化させるためのマスタープランとして地域公共交通計画を策定しました。今後は計画に基づき、面的な公共交通ネットワークの整備に向けて施策を推進していきます。

路線バスについては、市内を運行する一部路線の廃止も危惧されましたが、調整の結果、最小限の結果となりました。今後は地域公共交通計画に基づき、バス路線の確保維持に向けて必要な検討を行っています。

また、昨年度、交通事業者への支援として市内を運行するバス事業者3社およびタクシー事業者6社に対し、計564万円の支援金を交付したほか、本市の鉄道駅の駅前広場へ乗り入れを行うタクシー事業者6社に対して、計333万6千円の駅前広場占用料を免除しています。

交通施策推進事業について

大橋正好議員 地域公共交通計画の主な事業は、どのような内容でしょうか。

また、免許証返納についての検証はどうですか。

都市建設部長 地域公共交通計画の具体の事業については、現在、朝霞市にある公共交通空白地区のうち3か所にモデル事業として地域組織を立ち上げて、小型車両などで新たな公共交通を走らせる計画があります。地域組織の立ち上げが前提になりますので、コロナの状況にも関係しますが、10月頃をめどに地域の方々と話し合つて、まずは地域組織の立ち上げに向けた説明会を開催したいと考えています。

また、運転免許証の返納については、認知機能、身体機能の低下などにより安全運転に不安があり、自主的に返納された方への特典として、市内循環バスの回数券、または交通系ICカードの給付を行いました。内訳としては、市内循環バス回数券は男性15名、女性16名の合計31名、交通系ICカードは男性264名、女性303名、合計567名に給付しています。

【採決】

認定(賛成多数)



議案第44号 令和2年度(2020年度)朝霞市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

【説明】

歳入106億9698万7880円、歳出103億3066万4460円で、この決算を正當なものとして認定するものです。

歳入の主なもの、国民健康保険税、県支出金などです。歳出の主なもの、療養給付事業、高額療養費支給事業、国民健康保険事業費納付金などです。

【採決】

認定(賛成多数)

議案第45号 令和2年度(2020年度)朝霞市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

【説明】

歳入78億6416万4752円、歳出75億1405万4181円で、この決算を正當なものとして認定するものです。



歳入の主なものは、65歳以上の第1号被保険者分保険料、介護給付費交付金などです。

歳入の主なものは、居宅介護等サービス給付費負担金、施設介護サービス給付費負担金、介護予防事業、包括的支援事業・任意事業に係る委託料などです。

【質疑】

第7期介護保険事業計画と地域支援事業

本田麻希子議員 2020年度は3年間にわたる第7期介護保険事業計画の最後の年でした。この第7期計画における市民の支え合い活動と包括的支援事業の課題と第8期計画に向けての検討内容を伺います。

福祉部長 包括的支援事業では、地域包括支援センターの運営や生活支援体制整備事業による住民主体の助け合いの仕組みづくりなどを行っています。

第7期計画における地域包括支援センターの運営については、職員配置に欠員が生じるなど安定した支援体制の維持に課題がありました。第8期計画では、センターの機能強化を位置づけ、人員体制の

強化、日常生活圏域を5圏域から6圏域へ見直し、新たなセンターの設置を行うなど、今年度から順次取り組みを進めています。

【採決】

認定（賛成多数）

議案第46号 令和2年度（2020年度）朝霞市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

【説明】

歳入13億4297万7888円、歳出13億4062万4328円で、この決算を正當なものとして認定するものです。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料、繰入金などです。

歳入の主なものは、一般管理事務費、徴収事業、後期高齢者医療広域連合納付事業、保険料還付事業などです。

【採決】

認定（賛成多数）

議案第47号 令和2年度（2020年度）朝霞市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

【説明】

剰余金の処分については、当年度末処分利益剰余金のつ

ち、3億3583万304円を資本金へ組み入れ、減債積立金および建設改良積立金に、それぞれ1億7548万3987円を積み立てるものです。

決算については、収益的収入額24億8113万6915円、収益的支出額20億7069万8810円、資本的収入額4億2536万2259円、資本的支出額12億4758万7780円で、この決算を正當なものとして認定するものです。

収益的収入の主なものは、水道料金、水道利用加入金などです。

収益的支出の主なものは、県水受水費、職員人件費、委託料、修繕費などです。

資本的収入の主なものは、企業債です。

資本的支出の主なものは、岡浄水場配水ポンプ等電気設備更新工事、水道施設耐震化事業、老朽管更新および水圧不足改善事業などです。

【採決】

原案可決及び認定（賛成多数）



議案第48号 令和2年度（2020年度）朝霞市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

【説明】

剰余金の処分については、当年度末処分利益剰余金のうち、1億3212万5738円を全額利益積立金に積み立てるものです。

決算については、収益的収入額19億4174万9089円、収益的支出額17億9188万3420円、資本的収入額5億8207万3100円、資本的支出額7億6907万9749円で、この決算を正當なものとして認定するものです。

収益的収入の主なものは、下水道使用料などです。

収益的支出の主なものは、職員人件費、委託料、修繕費などです。

資本的収入の主なものは、企業債、国庫補助金などです。

資本的支出の主なものは、仲町中継ポンプ場耐震補強工事、溝沼地区に雨水貯留施設等を整備するための用地取得などです。

【採決】

原案可決及び認定（賛成多数）

議案第49号 令和3年度（2021年度）朝霞市一般会計補正予算（第4号）

【説明】

補正額は、17億8746万8千円の増額で、予算総額は、47億1141万4千円となりました。

歳入は、地方特例交付金、国庫支出金、繰越金、諸収入、市債などを増額し、県支出金、財産収入を減額しています。

歳出は、市制施行55周年記念式典の実施に係る経費、社会福祉協議会補助金、農業近代化設備事業費補助金、ふるさと納税のポータルサイトに係る経費、道路修繕工事などを増額します。

また、新たに計上するものとしては、市庁舎トイレ等自動水栓栓改修工事、電気自動車用急速充電設備設置等工事、プレミアム付商品券事業費補助金、内間木橋撤去工事、立地適正化計画策定委託料、小学校における少人数学級に対応するための整備、内間木公民館施設改修経費などです。

そのほか、令和2年度決算による前年度繰越金などを財政調整基金に積み立てています。



【質疑】

プレミアム付商品券事業費について

駒牧容子議員 プレミアム付商品券事業費の概要について伺います。プレミアム率も50％ということ、市民にとっても本来とても嬉しい取り組みだと思いますが、利用できる店舗がない地域では購入する意欲が湧きません。また利用される店舗も一部人気店に集中すると伺っています。

一部地域の市民と一部店舗が潤うことがないようにできるだけ公平性を担保するように、今まで変更してきたことや、今後について伺いたします。

市民環境部長 過去2回のプレミアム付商品券において、第1弾では発行部数2万冊に対し4万166冊分、第2弾では発行部数3万冊に対し5万5294冊分の応募があり、いずれも抽せんとなったことから、今回の応募上限冊数を今までの1人5冊から1人3冊に変更する予定です。また、取扱店舗は、第1弾では360店舗でしたが、現在は約400店舗となり、より多くの店舗に参加いただいているところ

す。

今後、市民の方々からいただいた要望等については、第1弾、第2弾のデータがまとまりましたら、実施主体の商工会とも調整しながら、変更すべき点などを協議してまいります。



学校での「分散登校」の課題と今後について

田辺淳議員 新型コロナウイルスの感染がやまないなか、2学期が始まり、学校ではいわゆる「分散登校」(9月17日まで)が行われています。オンライン授業に対応しきれない低学年の児童や、ついていけない子どもたちのために家庭ではなく、体育館で先生方が対応されているようですが、オンライン授業をしたり、その

フオーをしたりで教職員も大変です。こんな時こそ、放課後児童クラブが協調して対応すべきです。人手の問題はあるでしょうが、Wi-Fi環境は早急に整備するべきだと思います。新たな感染拡大に備える意味でも、いかがですか。

学校教育部長 分散登校は、授業として学校で対応しているところ

また、放課後児童クラブに所属していない児童への対応等も踏まえ、クラブに全面的にお願いをすることは難しいと考えています。限られたスペースの中でのオンライン授業です、密になる状況も考えられます。

現時点では学校で対応していますが、長い目で見た場合、宿題等を行う際に、家庭にタブレット端末を持ち帰ることも当然想定していますので、放課後児童クラブにWi-Fiを設置することについては、関係部署と具体的な課題について協議を進めながら、これから取り組んでまいりたいと考えています。

【採決】

原案可決 (賛成多数)

議案第50号 令和3年度(2021年度)朝霞市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

【説明】

補正額は、3億2132万3千円の増額で、予算総額は、109億8900万9千円となりました。

歳入は、繰越金を増額しています。

歳出は、今回の補正における歳入歳出の差引額を財政調整基金等積立事業に積み立てるものです。

【採決】

原案可決 (全会一致)

議案第51号 令和3年度(2021年度)朝霞市介護保険特別会計補正予算(第1号)

【説明】

補正額は、3億5221万4千円の増額で、予算総額は、80億7962万円となりました。

歳入は、繰入金、繰越金を増額しています。

歳出は、介護保険保険給付費支払基金積立金、令和2年度決算の確定に伴う国、県、支払基金への返還金および一般会計繰出金を増額しています。

【採決】

原案可決 (全会一致)

議案第52号 令和3年度(2021年度)朝霞市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

【説明】

補正額は、25万3千円の増額で、予算総額は、13億98

21万6千円となりました。歳入は、繰越金を増額しています。

歳出は、令和2年度の出納整理期間分の後期高齢者医療保険料、一般会計繰出金を増額しています。

【採決】

原案可決 (全会一致)

議案第53号 令和3年度(2021年度)朝霞市水道事業会計補正予算(第1号)

【説明】

収益的支出について、昨年12月から停止している膝折浄水場の廃止に伴う施設の撤去設計委託料を増額しています。

【採決】

原案可決 (全会一致)

議案第54号 朝霞市個人情報保護条例の一部を改正する条例

【説明】

デジタル庁設置法の施行に伴い、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に規定されている情報提供ネットワークシステムからの所管が、総務省からデジタル庁に移管されることから、字句および引用条項の整理を行うものです。また、デジタル社会の形成



を図るための関係法律の整備に関する法律において、本条例で引用している行政機関の保有する個人情報保護に関する法律の廃止が規定されていることから、所要の改正を行うものです。

【採決】

原案可決（賛成多数）

議案第55号 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

【説明】

職員の心身の健康の維持および増進または家庭生活の充実を図ることを目的に、夏季期間に取得が可能な特別休暇について、より取得しやすい環境を整えるため、取得可能な期間を「6月から10月の期間」に拡大するものです。

【採決】

原案可決（全会一致）

議案第56号 朝霞市税条例の一部を改正する条例

【説明】

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、個人市民税では、均等割および所得割の非課税限度額における国外居住親族の取り扱いを見直すほか、特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療

費控除の特例の延長を行うものです。

【採決】

原案可決（賛成多数）

議案第57号 朝霞市老人福祉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

【説明】

溝沼複合施設の施設管理の効率化を図ることを目的に、溝沼老人福祉センターの休所日を同複合施設内の児童館および保育園の休所日と統一するため、所要の改正を行うものです。

【採決】

原案可決（賛成多数）

議案第58号 埼玉県都市競艇組合規程の変更について

【説明】

埼玉県都市競艇組合において、地方公営企業法の規定を全部適用することなどに伴い、同組合規約を変更することについて協議する必要があるため、議決を求めるものです。

【採決】

原案可決（全会一致）

一般質問

一般質問とは、生活に関わる市政全般のことについて、市に対して行う質問です。

総務関係

防災対策について

佐久間ケンタ議員 指定避難所42か所の収容可能人数は約1万2670人で感染症対策を考慮した避難所運営を行うと収容人数は約4千人強とのことですが、朝霞市では現在、過密状態を防止するための間仕切りパーテーション付テントの用意が最低でも2728人分しかないということですね。購入の検討と備蓄する防災倉庫が必要と考えます。用意分以上の避難者が発生した場合、どのようなことを想定しているのかをお尋ねします。

危機管理監 ホームページ等にも掲載していますが、避難所が密になることがないよう、可能であれば分散避難をお願いしているところです。しかしながら、避難所において備蓄しているパーテーションが収容可能人数を超えた場合の対応については、空いている

避難所において、避難者同士の距離を一定程度保ちながら滞在していただけるよう、養生テープ等で区画を示し、避難していただくことを考えています。

また、令和2年9月には、労働大学校と災害時における施設利用に関する協定を締結したことにより、労働大学校の施設において避難することも可能となり、少しでも多くの避難者を受け入れることができるよう努めていきたいと思えます。

その他の質問項目

集団接種会場となっている総合体育館を利用したい方への対応と今後の課題／学校行事について



来年度予算編成について

斉藤弘道議員 来年度の予算は、各部への枠配分に変更になるとのことですが、狙いは何ですか。枠配分となる対象は何で、各部への額は今年度と比べてどうなるでしょうか。このままでは、朝霞市独自の支援事業が削られたり、需要

の増加に対応できなかったりするおそれがあり心配です。部を越えた市全体での優先順位をつけることも必要ではないでしょうか。また、市民や市議会、各審議会などに予算査定の際に説明をし、意見を聞くべきです。

総務部長

真に必要な事業に予算を配分するためには、事業に携わり、精度の高い情報を有している事業課が主体的に事業の方向性を判断することが効果的であり、そのことが結果的には行政サービスの向上につながると思います。ものと考え、来年度当初予算編成は、一般財源見込額を部ごとに配分し、その範囲内で各部は事業の精査を行い、予算要求する方法で現在進めています。なお、義務的経費である人件費、法定の扶助費、公債費等は、配分予算から除外しています。

各部への額は、合計91億7237万1千円で、令和3年度と比べ約7.6%の減となります。

市長公室長 部を越えた優先順位については、各部が出してきたものはすべて把握できますので、それらを総合的に



調整し、優先順位をつけて、責任を持って行っていきたいと考えています。

また、この枠配分予算については時期を見て説明をするように指示したいと考えています。

その他の質問項目 基地跡地利用の今後の展望と市の姿勢について／行政改革の現状と今後の展開について

教育環境関係

朝霞市民まつり彩夏祭の中止と今後の展望

田原亮議員 朝霞市民まつり彩夏祭、特に本市自慢のよさこい鳴子踊りが2年連続で中止となった影響は大きく、残念だという声が多く寄せられています。

郷土愛醸成、そして青少年育成に多大な貢献をしてきたよさこい鳴子踊りは、多くの市民が受け継いできた財産ですが、その継承は大きな危機に直面している状況です。

あらゆる方法を模索し、踊り子のお披露目の機会を作ること、何より続けていくことが大事だと思いますが、開催に向けた市の考えを伺います。

市民環境部長 2年連続の彩夏祭中止の影響で、踊り子のモチベーションが低下してしまっています。こうした状況は彩夏祭の衰退にもつながりかねないものとして、市としても大変危惧するところです。

しかしながら、大切なことは中止となった彩夏祭を嘆くことではなく、次年度の彩夏祭に向けて、今やるべきこと、なすべきことを確実に実施することだと思えます。市民まつり実行委員会においても、この悔しさを糧に、今まで以上に盛大に開催したいという強い思いを持っていることと思います。市としても、実行委員会をはじめ彩夏祭の開催を待ち望んでいる多くの皆さんと協力、連携をし、次年度の開催に向けて力を傾注するとともに、引き続き本市におけるよさこい鳴子踊り文化の醸成に努めてまいります。

その他の質問項目 オリパラを振り返って／夏休み放課後児童クラブと学校／学校運営協議会の実情と効果的な活用

子どもの命を守る「いのちの授業」について

宮林智美議員 「命の大切さ」

を子どもに伝えるには生と性教育が必須です。富士見市は小中学校・特別支援学校で助産師を招いて「いのちの授業」として生と性教育をしています。市の事業なので毎年行われすべての子どもが学ぶことができます。朝霞市も子どもを命を守るために小中学校で分かりやすく一歩踏み込んだ性教育をしてくださる専門的知識のある助産師のような外部講師を招いて「いのちの授業」を市の事業として継続的に行うことはできないか伺います。

学校教育部長 外部指導者を招いた学習は、発展的学習として、小学校では、新しい生命の誕生について、地域の方や保護者をゲストティーチャーとして招き、体験を踏まえた話をしていただいたり、中学校では、性に関わる教育講演会を実施したりしている学校もあります。

各学校では学校の実態に応じて教育課程を編成し、年間指導計画に合わせた教育活動を進めています。外部講師については、校長が充実した教育活動を進めるうえで必要であると判断した場合には、そ

の都度招へいしているため、教育委員会として外部講師を依頼した教育活動について、一律に指示することはありませんが、各学校から要請があった場合には、情報提供を含めて積極的に支援していきたいと考えています。

その他の質問項目 緊急時の学校給食について／ご遺族のための相談窓口について／宮戸地域の避難所について

通学路の安全対策

遠藤光博議員 今年6月千葉県八街市で起きた悲しく痛ましい事故を受け公明党朝霞市議団で通学路の安全対策も含む「子どもたちの命を守るための緊急申し入れ」を提出しました。改めて通学路の危険箇所等の再点検をお願いしたところです。

各学校での点検状況とともに改善に向けたスケジュールなど伺います。また、民地が関わる箇所などの対応についても伺います。朝霞市からは悲しい事故を起こさないという思いでさまざま対応いただきたいと強く訴えます。

学校教育部長 通学路の危険箇所の把握が重要と考えてお

り、毎年、学校や保護者などの協力により、通学路の安全点検を実施しています。本年度は5年に一度の通学路安全総点検として、危険箇所を抽出しています。さらに、八街市の事故を受け、関係部署と8月に合同点検も実施しています。危険箇所として報告されたものは、改善や修繕を依頼しています。今後、通学路点検を継続することにより、危険箇所を把握し、関係機関と連携しながら児童・生徒の安全確保に努めます。

都市建設部長 対策が必要と判断した箇所について、現在工事費の算出を実施しており、今後は緊急性や必要経費などを基に優先順位を整理し、順次対策工事を実施する予定です。

また、地権者の協力が必要な箇所への取り組みですが、沿道地権者の合意形成の状況に応じて、柔軟に道路整備の優先順位を捉え直すなど、事業化の可能なところから順次整備を進めています。

その他の質問項目 電話リレーサービスの周知・ろう通訳の導入／基幹型地域包括支援センターの設置に向けて 他



膝折地域の今昔物語を 保存して欲しい

大橋正好議員 今の朝霞の始まりは、ひざおりから発展した姿を朝霞ひざおり遺産として、できることから保存すべきと思います。次代の観光開発のためにも考えてほしい。地の利点として東西に延びる川越街道、南北に流れる黒目川、その中心にある「ひざおり」の宿場情景です。そして、近代化工業の1つにある伸銅業の足跡を残してください。今することとして、昔を知る人から話を聞き取り、廃止工場や宿場の脇本陣等の残物を保存できないでしょうか。

生涯学習部長 膝折宿の宿場の保存については、当時の面影を残す古民家について、引き続き保存に向けての働きかけを進めていきたいと考えています。また、博物館の資料収蔵方針の1つに銅に関するものがあり、寄贈、寄託していただいた伸銅工場の資料のほか、継続して産業遺産である伸銅業や銅に関する資料の収集、保存を行っています。市内で伸銅業に勤めていた方

などに聞き取りを行い、水車や伸銅に関する調査を実施した事例もあります。

今後、川越街道の宿場町や黒目川沿いの伸銅業は、朝霞の歴史を語るうえで、また観光資源として重要な位置を占めておりますので、引き続き関連資料の収集、保存、調査、公開に努めてまいります。

その他の質問項目 学校教育／道路の安全対応／新型コロナウイルスの感染症

学校行事について

山下隆昭議員 市内中学校では、夏休みの中に全校において修学旅行中止の通達がなされました。

社会情勢に鑑み、やむを得ない判断ですが、その決定過程で当事者である子どもたちの声を聞く機会がなかったことは残念に思います。

単に中止で終わらせるのではなく、今後の代替策の検討も含め、子どもたち自身で考える機会を作り、その声を活かせるよう大人がサポートしていくことは、子どもたちの自主性を育てる点でも貴重な体験になると思いますがいかがでしょうか。

学校教育部長

今年度の3年生の修学旅行については、2年生の時のスキー林間が行けていませんので、何とか行かせられないかということをご各学校一生懸命考えていたと思います。しかし、新幹線を使い京都での宿の確保や受験等を控えている生徒もいる中で、別日での日程調整というのは大変難しいものがあり、総合的に中学校長会としてもやむなく中止の判断をしたと聞いています。

中学校の修学旅行の代替行事の実施については、活動の目的や感染状況等も踏まえて、最終的に各学校で企画、判断していく形になりますが、教育委員会としても、生徒の声にじっくり耳を傾けながら、代替行事の実施について子どもたちとともに各学校で検討していくよう、校長会議等で指示をしたいと思っています。

その他の質問項目 創エネ・省エネの取り組みについて／土砂災害特別警戒区域の安全対策について



市民体育祭の在り方について

須田義博議員 2年前に同様の質問をしています。今回新型コロナウイルスの影響で開催中止が続いたことなどを考え、新たな開催方法を検討する状況にあると感じています。1日に1か所に集めて開催する現在の方法ではなく、年間を通して各競技の市民大会を地区ごとのポイント制で進めるような、他市での方法も参考にすべきと思います。

現在は毎年各自治会や競技団体に、かなりの負担をかけていると感じていますので、今後の市民体育祭の在り方についてお尋ねします。

生涯学習部長 年間を通して各競技の市民大会を地区ごとのポイント制で進める方法は、それぞれの競技種目により開催日が異なるため、より多くの市民の方に参加していただくという点では有効な方式であると考えられます。しかし、本市では、競技種目のチームによっては所属メンバーがある地域から参加しているため、地域ごとの採点方法を用いることは難しく、新たな

就学相談における多機関・多職種連携

本田麻希子議員 障害のあるお子さんの就学相談において、就学前から関わっている医療機関や療育機関の情報や助言を得るための取り組みを伺います。また、保護者の方から、卒業後の進路を見据えて中学生生活を過ごしたいとご希望を伺います。成人したときの進路について、障害福祉課からも案内をしているのでしょうか。就学後、子どもへの支援を検討・共有するために、教員と保護者のほかに多機関の支援者も加わって行う個別支援会議の実績と周知について伺います。

学校教育部長 保育園、幼稚園、児童発達支援施設との連



携については、保育園や幼稚園の園長代表を就学支援委員として委嘱し、情報提供していただいています。また、就学相談の申し込みの際に、保育園、幼稚園から子どもの生活の様子等の所見をいただき、特に支援が必要と思われる未就学児については、教育委員会指導主事、子ども相談室教育相談員が行動観察や聞き取りを行い、情報共有を図っています。

医療機関との連携については、医師を就学支援委員として委嘱し、医学的見地からの意見をいただいています。また、保護者から医師の診断書、発達検査等の資料を提出いただいて、実態を把握し、各学校から主治医のいる医療機関と連携を図り、個に応じた指導に生かしています。

就学相談では、子どもが就学後に適切な支援を受けて豊かな学びができるよう、その子どもに関する情報は、それぞれの学校と共有し支援に生かしています。

福祉部長 卒業後の進路については、市のはあとびあ障害者就労支援センターや民間の相談支援事業所で相談を受け

るなど、支援に努めています。また、進路説明会に職員が出向き、保護者などを対象に障害福祉サービスなどについての説明を行うなど、本人や家族の希望に沿った進路先が見つかるよう努めています。

関係機関との連携については、昨年7月に障害者自立支援協議会に医療的ケア児部会を設置し、当事者団体の方をはじめ、障害福祉サービス事業者や保健・医療関係者、さらに教育関係の方にもご参加いただき、支援の在り方などについて検討を行っています。

その他の質問項目 新型コロナウイルス第5波への対応／児童虐待対応と子どもの養護／避難所開設訓練／若者支援

35人学級の教室確保策の内容

黒川滋議員 35人学級の施設整備の検討内容を伺います。

校舎の増築が避けられない第六小学校と第九小学校では、自校式給食の実現や第六小では分散する放課後児童クラブの解消をするのでしょうか。PTAや児童会活動の部屋を整理する代替策はありますか。プレハブ校舎の採用の議論

はどのように判断しましたか。35人学級にするに留まらず、主体的で対話的な深い学びの展開などで教育がさらに変化するのを見越した校舎にする必要はありませんか。

学校教育部長 第六小学校および第九小学校の校舎の増築は、建設場所や整備規模等、庁内関係部署と検討しており、その中で放課後児童クラブ、自校給食室の設置などについて、検討しています。

教室転用後の、PTA会議室や児童会の活動については、他施設の活用や備品等を保管している教室を半分に区切つて対応するなど、学校に確認をしながら対応しています。転用前の機能については、増築の際にその機能を戻すことができるよう検討しています。

プレハブ校舎については、遮音性が劣るなど既存校舎の環境と差が生じてしまうことが想定され、また、構造上の制約もあります。本市の現時点での推計では、今後もしばらく児童数の増加が見込まれ、これが一時的なものと判断できる要因もないことから、現在のところはプレハブでの整備は適当であるとは考えてい

ません。整備規模等を含めた増築内容について、さまざまな情報を精査し、決定していきたいと考えています。

また、多様な教育活動が展開できるような構造や教室の造りについては、基本設計および実施設計の段階になりましたら、検討していきたいと考えています。

その他の質問項目 住民合意形成の朝霞と朝霞台の格差／公立放課後児童クラブの職員不足／公共施設は誰のものか



建設関係

朝霞市道1067号線 の速度規制について

小池貴訓議員 朝霞市道1067号線は朝霞第四中学校、朝霞第八小学校と朝霞中央公園の間を走る幅員4.8m程の車同士がすれ違うのもギリギリな狭い道路です。この道路は通学路にもなっているため、朝と夕方は多くの子どもたちが通行します。その狭い道路の制限速度が40kmに設定され

ており、非常に危険な速度設定です。この通り子どもたちの通学路ですので、通学の安全を考慮し、この区間を制限速度30kmの【ゾーン30】に認定して通学の安全を図るべきではないでしょうか。

都市建設部長 市道1067号線は、朝霞第八小学校、第四中学校の通学路に指定されており、市では路面標示やポストコーン、グリーンベルトを設置するなどの対策を実施していますが、さらなる交通安全対策の強化のため、当路線の最高速度を時速40kmから30kmに変更するよう、本年8月に朝霞警察署に要望書を提出しました。

その他の質問項目 地域防災拠点のソーラー発電システムの設置／内間木橋跡地に人道橋の設置／観音通線速度表示

プレーパークの取り組みと今後について

駒牧容子議員 今年度は新たな取り組みとして、朝霞の森に加えて移動式プレーパークということで、市内のさまざまな公園でもプレーパークが開催されており、普段参加しなくても朝霞の森に通えない



子どもたちも多数参加しています。

子どもたちが自らの発想で遊び、自主性と創造性を育み、さまざまな年代の子どもたちと交流が持てるなど、単なる遊び場ではなく、子どもたちの居場所として重要な機能を果たしているプレーパークが今後いろいろな公園で展開する予定はあるのでしょうか。

都市建設部長 今年度新たな試みとして北朝霞公園や三原公園など8か所の公園において移動式プレーパークを実施しています。

プレーパークは、子どもを通じた地域のコミュニケーションによる潤いのあるまちづくりの一端を担う事業として、その存在意義は大きく、地域の身近にあるいつもの公園での開催は、子育てのしやすさを実感できる取り組みとして推進していくべきと考えています。

今後は、朝霞の森でのプレーパークの定期開催を継続するとともに、今回の新たな試みの検証や運営に協力していただいている団体の意見なども参考にするなど、朝霞の森以外の場所での開催につ

て、来年度以降の事業化に向けた具体的な検討を行っていきます。

その他の質問項目 発達支援センターの設置／災害時における聴覚障がい者への情報伝達／想定浸水深の表示を

空き家バンクについて

福川鷹子議員 朝霞市では4月から空き家バンクを設置しました。空き家バンクとは空き家を買りたい、貸したい所有者と空き家を買いたい、借りたい利用者のマッチングを行う制度です。交渉や契約は市と協定を締結した埼玉県宅地建物取引業協会が媒介します。現時点での空き家バンクの登録状況、近隣市の状況等、空き家バンクの実績はどうなっていますか。また、周知について、今後の取り組みを伺います。

都市建設部長 令和3年8月末時点における登録状況は、空き家の利用希望者が10件、空き家の所有者で登録手続中の物件が1件です。近隣市の状況は、和光市はまだ運用を始めておらず、志木市が平成28年4月、新座市が平成30年4月から実施しており、9月

7日時点での物件登録数は、本市同様に志木市、新座市とも0件です。

周知方法については、広報あさかやホームページに随時掲載しているほか、空き家バンクのチラシの郵送や配布をしています。また、令和元年度から納税通知書に空き家相談の案内などのチラシを同封しており、来年度からは空き家バンクの情報も掲載したチラシを同封し、周知する方向で関係部署と協議していきま

その他の質問項目 新型コロナウイルス陽性者への対応／幼保から小学校に、安心して入学するための取り組み



生命と財産を守る災害対策の進捗と早期実現

かしわや勝幸議員 災害（水

害）については、朝霞市においても、被害を受けており早急な対策が望まれます。私もこれまで議会などで幾度も取り上げ、訴えてきた台風・集中豪雨時の洪水・浸水などの災害対策の一部進捗について①黒目川の堤防かさ上げ②川

底のしゅんせつ・掘削③花の木橋から笹橋の未造成堤防建設④溝沿に予定する雨水一時貯水池の進捗について、朝霞市の見解を伺います。生命・財産を守るということは重要課題ですので、早期完成を要望いたします。

都市建設部長 市が要望し、県が実施している黒目川の災害対策の進捗状況は、溝沿黒目橋から新高橋間両岸の堤防を20㍍ほどかさ上げする工事が完了し、9月末に検査を実施することです。

川底に堆積した土砂を取り除くためのしゅんせつ工事は、測量が終了し、今後、施工方法に関する設計が終了次第、工事発注の予定とのことです。

花の木橋から笹橋間右岸の堤防で一部区間が未設置となっている越水を防ぐためのコンクリート壁の設置については、設置に向けた設計業務を行っており、今年中に工事を発注し、来年度初めの完成を目指しているとのこと。上下水道部長 溝沿地区の調整池築造工事は、9月末に入札を行い、工事期間は来年度までの2か年の予定です。その後、令和5年度から6年度

にポンプ場建設工事、令和6年度から7年度に雨水幹線布設替え工事を予定しています。

その他の質問項目 インフルエンザ助成／分散登校・放課後児童クラブ・保育園登園自粛時の早期周知と生活支援

交通空白地帯にデマンドタクシーを

外山まき議員 300㍍以内にバス停がない、内間木・根岸・膝折の交通空白地帯に、市はコミュニティバスを5か年計画で走らせる予定だが、バス

停までの300㍍が歩けない方にはデマンドタクシー制度の方が有効ではないか。志木市のやり方から換算すると朝霞市では規模から言って1億円かかる前回市長答弁にあつたが、富士見市方式だと500㍍600万円程度で運用できるのでないか。供給側の都合からでなく市民の皆さんの要望から計画を考え直してほしい。

都市建設部長 富士見市型デマンドタクシーは、いわゆるタクシー補助で、1乗車当たりの利用料金の半額、上限500円を補助するもので、利用回数は年12回を限度としています。



1人当たりの上限額が決まっているため、志木市型のデマンドタクシーと比較した場合、予算規模は小さくなりますが、本市では、既にバス・鉄道共通カード交付など、福祉施策としてさまざまな移動支援を実施しています。

審議監 地域公共交通計画は、昨年度にあった民間路線バスの一部撤退という話などを踏まえ、全体的な地域公共交通の維持を念頭に置き、まずは、40万人の利用がある市内循環バスを維持しつつ、公共交通空白地区を改善して、面的な交通ネットワークを整えていく形で計画を進めています。空白地区については、定時定路線の小型の車両で、地域の方々と話し合いをしながらコース設定をしていきたいと考えています。

300円以内で対応できない方には、福祉政策と連携しながら丁寧に対応していきたいと考えています。

その他の質問項目 コロナ後遺症とワクチン副反応の調査を子どもへのマスク着用と運動時のマスクについて



県道沿い宮戸二丁目に信号の設置を

山口公悦議員 市民から信号機の設置が要望されていた県道と光志木線沿いの宮戸二丁目、ドラッグストアが開店します。これにより人の動線が大きく変わります。県道の車両の往来は多く、横断歩道が敷設されていても極めて危険な箇所として、住民が署名を集め要望している箇所でもあります。早急に信号機の設置を求めます。

都市建設部長 朝志ヶ丘4-6と宮戸2-2付近に設置されている横断歩道については、これまでも押しボタンス式の信号機の設置を朝霞警察署に要望しています。宮戸二丁目土地画整理事業が完了し、住宅建築などの土地利用が進んでいることや大型店舗がオープンするなど、今後、さらなる横断需要の増加が予想されることから、つい先日にも埼玉県警察本部、朝霞警察署、朝霞県土整備事務所と現地立ち会いを実施し、信号機の設置についてお願いしてきたところですが、警察によりますと、埼玉県が施工している県

道と光志木線の交差点改良後の交通量変化や沿道の土地利用に伴う横断需要の高さなどについて確認し、検討していきたいとのことでした。

民生関係

「パーキングパーミット制度」の導入を

岡崎和広議員 障がいのある方のために確保された駐車スペースに障がいのない人が駐車して、障がいのある方が利用できない問題があります。身体障がい者だけでなく、内部障がい者・高齢者・妊婦さん・けが人など歩行困難な人に利用証を交付して、適正に障がい者等用駐車区画を利用することができると「パーキングパーミット制度」を導入すべきと考えますが、いかがでしょうか。お伺いします。

福祉部長 パーキングパーミット制度を導入している自治体では、導入のメリットとして、利用対象者が明確化され、利用が促進されるとして

いますが、一方で都市部では敷地の制約から必要となる駐車区画を十分に確保することが難しいため、利用証を所持していても駐車場の空きがなく、駐車できないことや、利用証を所持していない市外在住の方から、障害があるのに駐車できないとの苦情があるなど、施設側が対応に苦慮しているなどのデメリットも指摘されています。

本制度は駐車場の適正利用を進める方策の一つですが、さまざまな課題があるので、現時点で本市で導入することは難しいものと考えています。

その他の質問項目 技能者表彰の導入を／給付型奨学金の設置を／高齢者の身元保証を／学校通学路の交通安全対策

放課後児童クラブの指導員不足の改善を

石川啓子議員 保育分野での人手不足は深刻です。保育士配置不足で指導を受ける保育所が増加しています。待機児童が多いにもかかわらず、保育士が足りないために受け入れ制限をする保育所も増えています。

放課後児童クラブでも、正

規職員7人、臨時職員9人が不足し、派遣職員で補っています。指導員をしっかりと配置できるように、改善に向けてどのように取り組んでいるのでしょうか。

こども・健康部長 令和2年度については、人材募集の有料の広報紙に5回の掲載、ハローワーク主催や市主催の就職相談会への参加、ホームページや朝霞市および社会福祉協議会の広報への掲載、公用車にポスターを掲示するなど、さまざまな方法で募集をしましたが、人員の確保には至っていません。

社会福祉協議会では、指導員の賃金の改善を行うなど給与面での処遇の改善が図られ、さらに次期指定に向け、無資格の職員が経験を積むことで指導員の資格の取得が可能となるような体制を検討しています。また、勤務時間が時差となるほか、土曜日等の勤務もあるなど負担が大きい職場のため、労働環境の整備に努めることを検討しています。

また、市では、放課後児童クラブで安全な保育が提供できるように加配保育士も必要と考えていますので、指導員



の確保について強く働きかけを行っていきます。

その他の質問項目 学校や保育所での拡大PCR検査を／生理の貧困／修学旅行キャンセル料は市負担で／水害対策



「地域包括支援センター」の今後について

田辺淳議員 これまで朝霞市は市内を5圏域に分け、担当する地域包括支援センターが市の委託事業を行ってきた。今回、圏域を6か所に増やし、新たなセンターを選定する作業に入っていますが、以前より課題だったのは、その名称です。いまだに朝霞市では民間の事業者名がそのまま使われています。公的な施設であるからには、地域名（二原、根岸台センターなど）を使用するのが公平であり、分かりやすい。年度ごとの契約で、民間事業者名を使い続けるのは不合理です。この際、改めるべきではありませんか。

市長 今回の日常生活圏域の見直しに合わせて、地域包括支援センターの名称の見直し

も検討しましたが、圏域や担当センターの変更に加え、名称を変更することは、利用される高齢者の方にとって負担になると判断し、名称の見直しは行わないこととしました。

地域包括支援センターは施設の名称として定着しており、その施設がどこにあるか大体認識されていますので、その場所に行きやすいというメリットはあると思います。

今後、基幹型の地域包括支援センターを設置する予定ですので、時期的には、その段階で、利用者の声も聞きながら、名称変更については検討します。

その他の質問項目 オリ・パラの決算／デジタル化と個人情報保護／保育の質／5Gによる電磁波の影響 他

敬老の日の在り方について

利根川仁志議員 対象者として選ばれ、楽しみにしていた「長寿を祝う会」に出席できないことが本当に残念ですとの声を多く聞きます。ライブ配信や動画配信では、高齢者の方を見ることは難しいと思います。昨年も本年も、感

染防止対策で催しは中止になり、これまでも爆破予告等で中止になったこともありましたが、催しが中止となれば、やっとな対象年齢になった方が、悲しい思いをすることになります。であるならば、何か心暖まる記念品、贈り物を検討することについて伺います。

福祉部長 現在、77歳、88歳、99歳、100歳の方に敬老祝い金を、さらに、90歳以上の方に市長からの祝辞を敬老祝い状としてお贈りしています。

長寿を祝う会は、この敬老祝いの金の対象の方に80歳と90歳の方を合わせてご招待しています。しかし、動画配信を見る環境がない、動画配信よりも記念品をといったご意見があり、事業内容を見直して、現在の方法以外で敬老をお祝いすることを検討しています。

が、予算の確保など課題が多い状況です。今後、敬老事業全体の在り方を考えていく中で検討したいと考えています。

その他の質問項目 新型コロナウイルス感染症対策の対応／コロナ禍での学校教育の体制／朝霞市のさらなる防災／減災対策

議員提出議案 1件を審議

議案の件名と要旨は、次のとおりです。

中華人民共和国による人権侵害問題への調査・抗議等を求める意見書

新疆ウイグル自治区では、かねてより中華人民共和国政府によるウイグル人への強制労働や不妊手術等が報告されており、民族弾圧や文化の破壊、人命のみならず人権を侵害する行為に対しては、断固として抗議の声を上げるべきです。

よって、日本国政府には直ちに徹底調査を実施し、中華人民共和国政府による人権侵害が認められる場合は、厳重なる抗議と国際法に基づくさまざまな手法による即時是正を求めていくことを強く要望します。

【採決】

原案可決（賛成多数）

※この意見書の送付先
衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・外務大臣

請願の審議結果

— 継続審査 —

生理の貧困への取り組みを求める請願

（請願者）

新日本婦人の会朝霞支部

支部長 深澤 侃子

※掲載内容は令和3年第3回定例会時点のものです。（敬称略）

議会からのお知らせ

議会中継・録画配信

市議会では、インターネットで本会議における会議の様をライブ映像および録画映像により公開しています。

議会の詳細は会議録で

市議会の審議内容を詳しくお知らせになりたい方は、市政情報コーナー（市役所1階）のほか、図書館または各公民館図書室で会議録をご覧ください。市ホームページからご覧いただけます。

なお、常任委員会の会議録も市ホームページからご覧いただけます。

※今回の会議録は、12月上旬に公開を予定しています。

問／議会総務課

TEL 463-0549
FAX 463-0307